

経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道 西興部村

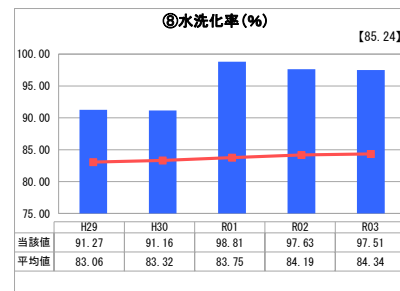
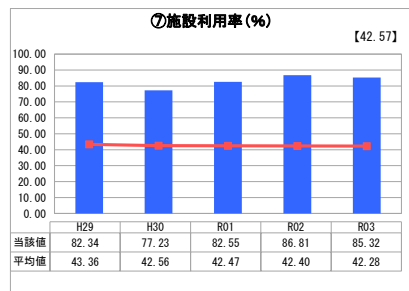
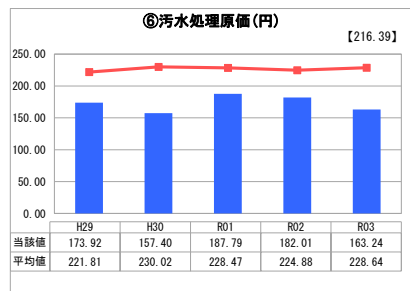
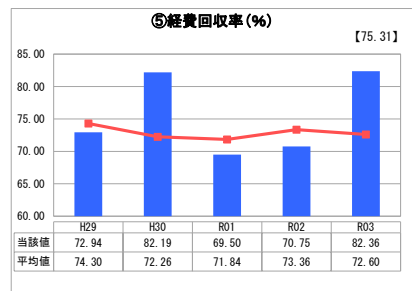
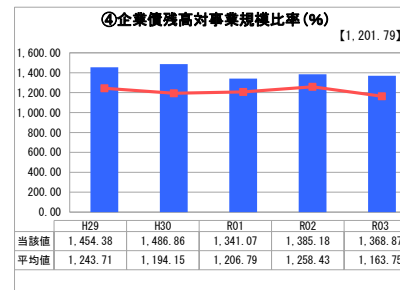
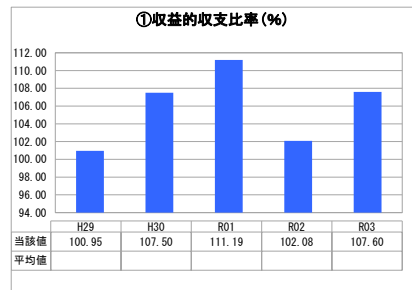
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	89.11	90.00	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,033	308.08	3.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
925	0.70	1,321.43

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業を運営するには、本来であれば料金収入をもって賄う事が当然であるが、小規模自治体であり、料金収入だけで賄うと住民の負担増となってしまうことから、一般会計繰入金が不可欠となっているのが現状である。

令和3年度については、前年度に対し委託料減に伴い総費用が減り営業収入、消費税還付金の増により総収益増であったため、経費回収率の増、汚水処理原価の減となった。

平成25年度より、下水終末処理場及び10箇所あるマンホールポンプ所の長寿命化計画を策定し、機械・電気設備の改築・更新事業に着手。平成28年度から令和3年度にかけて10箇所あるマンホールポンプ所の更新を完了。令和4年度よりストックマネジメント計画に基づき、同様に改築・更新事業を行う予定である。それに伴い企業債残高が増加することが予想される。

2. 老朽化の状況について

機械・電気設備については長寿命化計画に基づき改築・更新を行っている。

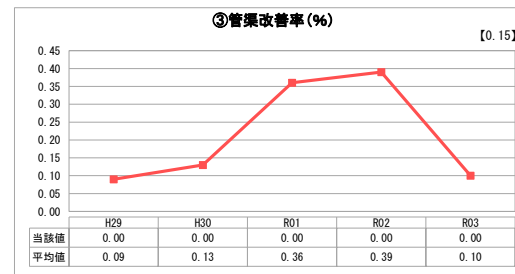
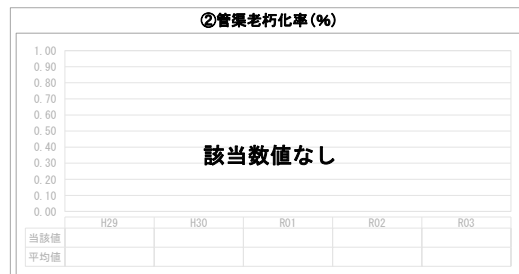
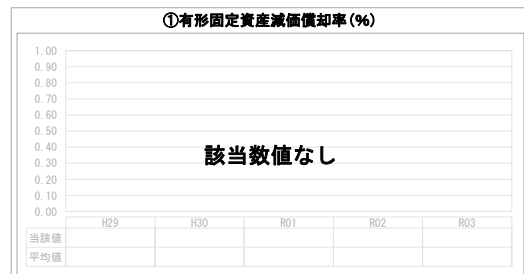
令和3年度からはストックマネジメント計画により、管路も合わせ、点検・修繕も含め、費用の平準化を図り対応していく。

なお、管路については、最も古い管路で平成6年布設、平成25年に管路内カメラ調査を実施、令和2年度に本管の管渠清掃実施した。また、定期的に点検・清掃をしており、現状問題はない。

全体総括

今後も有収率の向上を目指し、主にソフト面の広域化検討も視野に入れ、無駄なく適正な維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。